

正常犬・猫の高ナトリウム摂取における 血圧および飲水量の変動

三品美夏 渡辺俊文[†]

麻布大学附属動物病院 (〒229-8501 相模原市淵野辺1-17-71)

(2009年1月19日受付・2009年7月14日受理)

要 約

腎機能の正常な雑種成犬5頭と雑種成猫4頭に低塩食と高塩食を与えたときの血圧および飲水量の変動を観察した。低塩食に馴致させた後、高塩食を与えると飲水量が犬・猫ともに増加し、低塩食に戻すと低下した ($P < 0.05$)。犬1例において、食塩負荷時に変化率10%を超える上昇が収縮期、拡張期および平均血圧に認められたが、群としてみると犬・猫ともに有意な血圧変動は実験期間を通して認められなかった。今回の実験から、腎機能の正常な犬および猫に高塩食を短期間与えても飲水を自由にするかぎり血圧に影響はないと考えられた。

——キーワード：血圧，ナトリウム，食塩。

----- 日獣会誌 63, 45～47 (2010)

[†] 連絡責任者：渡辺俊文 (麻布大学附属動物病院)

〒229-8501 相模原市淵野辺1-17-71 ☎042-754-7111 FAX 042-769-2418 E-mail : watanabe@azabu-u.ac.jp